エンゼル・ヴォイス通信

令和７年　８月
（２０２５年）

会報４７号

ご　あ　い　さ　つ

会員の皆様、お元気ですか。７月とはいえ、37 度、38 度と ビックリするような暑い毎日です。日本の情緒豊かな春夏秋冬はどこへ姿を消してしまったのでしょうか？この暑さの中をレッスンに通っていただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

先日、参議院選挙が行われましたが、それを見るにつけ、この時代、何が善で何が悪かわからなくなるような混沌とした時代になったと感じています。各自の欲得が見え隠れする世界は、政治の世界だけではありません。私は近頃、特に情操教育の必要性を感じています。

幸いにも私は仏教系の学校に１２歳よりご縁をいただいていましたので、毎日朝夕、経文の内容を短い詩編にした『日々の糧』という小冊子を、クラス全員で声を揃えて音読していました。その中のいくつもの言葉が、多感な成長期に、知らず知らず心の栄養補給となり、私の心を豊かに育ててくれていたことに、この年齢になって気がつきました。また、今でも強く記憶にあるのは，毎朝『恩徳讃』の歌詞をきれいな旋律にのせて全校生徒で歌ったことです。神仏に感謝し、報恩の人生を生きる。とはいえ、人それぞれ人生には苦悩があります。しかし、私たちはその中で、泥中の蓮の如く，凛とした清い心で生き切りたいものです。

深い呼吸は、静かに己の心を見つめなおし、自己と対峙する時間を持たせてくれます。

私は子どもの頃からなぜか『真・善・美』という言葉が大好きでした。これからの時代がどのような時代になろうとも、未来の子どもたちが、真・善・美について深く考えを巡らせることができるような、高い精神性を養ってほしい、無関係のようですが、これが私の丹田式呼吸法・発声法を伝えたいと願う思いのベースにあるように思います。

どうか丹田式呼吸法・発声法を学ぶ会員の皆様も、丹田式呼吸法・発声法を通して、真・善・美の体現者となっていただきたいと思っています。ともに頑張りましょう！宜しくお願いいたします。

門　前　　啓　子

追伸；　　支部講師の山崎葉子先生が、皆様で合唱したものを YouTube にあげてくださっています。本格的な発声で、調和されたとても響きのよい合唱です。海外でも聴いてくださっているので、この度英語解説も添えていただくことになりました。どうぞ『丹田発声協会』と検索して多くのご友人にもご紹介ください。皆様の歌声とともに、私の願いがたくさんの方に届き、ひとりでも多くの方々に丹田式呼吸法が浸透し、それぞれの人生を、愛溢れる豊かな心で生きていただきたいと願っています。また、先日来ご購入いただいている昨年の 15 周年記念大会の DVD も、ご購入１枚にご友人用１枚を無料でお付けしています。まだお持ちでない方、追加でお求めいただける方は、ぜひ担当講師までお知らせください。

もう手に入れられましたでしょうか？

丹田発声協会　15 周年記念大会　DVD

昨年 11 月に行われた「丹田発声協会 15 周年記念大会」の模様を収録した DVD。皆さんはもう手に入れられましたでしょうか。丹田式発声法を学ぶ会員が一堂に集まって日頃の成果を発表し、最後は門前先生のリードによる会場全体の合唱で締めくくられた様子が映像でご覧になれます。丹田からの一本の息で奏でる合唱は、家事などをしながらの「ながら聴き」でも呼吸が整います。ぜひ一枚お手元に置いて、発表会の余韻を楽しみませんか。

■「丹田発声協会 15 周年記念大会」DVD　１枚 3,000 円（税込）

■ 代金を下記いずれかの口座にお振込みの上、
インターネットまたは FAX（0742-44-7811）でお申込みください。

- ゆうちょ銀行　14450-22577351　一般社団法人 丹田発声協会
- 三菱 UFJ 銀行 近鉄学園前支店 普通　0106161 一般社団法人 丹田発声協会

■ インターネットでのお申し込みはこちらから
http://monzenshiki.com/form202411dvd/

←ＱＲコードを
読み取ってください

■ FAX でお申し込みの方は、同封しています申込用紙にご記入の上、お送りください。

会員の皆様の
ご寄稿

念願の門前式呼吸法にやっと来れた！！

私は胆嚢全摘出後、9年間、1日3回～4回の水下痢に苦しみました。

初めは漢方薬で少しずつ治まっていましたが、また段々と酷くなり、大腸癌、過敏性腸症候群になりました。

何とかして治さなければ…と思い、病院は勿論、整体も何軒も回り、やっとの思いでたどり着いた富雄にある中谷鍼灸整骨院の先生に勧められて、「木島さんの将来の夢は、合唱、コーラスをする事ですよね。」「腹式呼吸はお腹の横隔膜を動かし内臓を動かします。本来内臓は自律神経が動かしますが、この呼吸法は自分で内臓を動かす唯一の方法です。木島さんの症状を治すには、とても有効です。」「すぐに習いに行ってください。」と言われ、私はその日に、学園前教室に電話をして習い始めました。

整体の先生が、昨年１１月９日の郡山城ホールでの演奏会のＤＶＤ を見て､感想を話されました。「皆さんすごく姿勢が良い‼」「姿勢が良い事は、脳に行く血流が猫背の人より多く運ばれます。つまり、健康に良い事ばかりされている。」と褒めておられました。

私の９年間苦しんだ下痢は、この呼吸法と整体のお陰で１ヶ月半で治りました。大腸癌も治りました。ヤッタァ‼

私は念願の舞台にも立ちました。近い将来の夢は個人レッスンを受けて合格することです。

門前先生、諸先生方、皆様、どうぞこれからも宜しくお願いいたします。

木島　眞左子（７０歳）

木島さんは、学園前校で月４回集合レッスンに通っておられます。いつも朗らかに明るく熱心に取り組まれ、よく感動してくださいます。こんな大変な病気を抱えてこられたとは、ここまで詳しくは存じませんでした。最近は丹田からの深い呼吸が身に付いてこられているなと感じていました。それがこのように短期間で良い結果に繋がったのだと思います。

丹田式呼吸法は丹田&骨盤底筋から背骨を意識して呼吸をすることで、全身に良い酸素、良い血液を運びリンパの流れも良くなり全ての内臓を元気にしてくれます。その証拠に呼吸から起声をしている段階で既に気持ちのいい汗をかき、手のひらも真っ赤になってきます。

ご本人の前向きな気持ちと毎週休まずコツコツと続けられたことが、このように早く良い結果を生んだのだと思います。

これからも今まで通り楽しく取り組んでいただき、ケアしながらどんどん次の夢を実現させ、また皆んなで舞台で歌いましょう！

本部講師　木村　博子

「門前式発声法（＝丹田式発声法）と出会って」

昨年秋、肺に癌が見つかりました。ステージ１期の肺腺癌で、12月に左上肺葉切除の手術を行いました。胸腔鏡の手術で、傷跡もさほどなく、その後も抗がん剤治療の必要もなく10日程で退院、１週間後に抜糸をして、自宅療養になりました。年末、正月とゆっくり休めば元のように元気に動き回れると思っていたのですが、そんなに甘くはありませんでした。

入院中のリハビリでは、日毎に楽に歩けるようになっていましたが、家に帰るとそうはいきませんでした。新聞を取りに外へ出ると、冷たい風を吸い込み咳込む。２階から下へ降りると、それだけでゼイゼイと息が切れる始末です。それでも、暖かそうな日差しがある頃を選んで、リハビリを兼ねて散歩をしていました。

かなり元気になってきたと思い、２月の末に近くの公民館へ講演会を聞きに行きました。20人ほどの参加者の中で、発言を求められ発言したのですが、後ろまで声が届かない。話している間にドンドン声が小さくなり、声を出すのがとてもしんどくなっていました。

その１週間後友達に出会い、呼吸がしづらい事を話すと、「丹田式発声法」というのがあって、丹田から息を出して声を出すという話を聞きました。その頃、鎖骨の下あたりで息をしていて、話したり動いたりすると、ゼイゼイ言ってとてもしんどかったのです。病院では「腹式呼吸をするようにしましょう！」と言われていたのですが、なかなかうまくいかなかったのです。「これだ！」と思い、体験レッスンを受けすぐに個人レッスンを始めました。

３月後半から個人レッスンが始まりました。とにかく、丹田に意識を集中して息を吐く。丹田の筋トレとよく先生はおっしゃいますが、丹田に意識を集中していると、ボワーと体が熱くなった気がしました。息に声をのせる、とても難しいです。でも、4月のはじめ頃には長くおしゃべりしても声が枯れることがなくなり、大きな声も出せるようになりました。と同時に、歩くときに丹田から息を出そうと意識して歩くと、とても楽に歩けるようになりました。少し歩くと、すぐにゼイゼイと言い出ししんどかったのですが、ちょっと丹田に手を置いて歩くと、丹田を意識して歩けるのか、長い距離を歩いたり、少し速足で歩いてもゼイゼイということが少なくなりました。

まだまだ習慣づいていないせいか、レッスンが抜けるとすぐ後戻りしますが、これからも続けていきたいと思っています。

上林由美子・元小学校教師（70歳）

上林さんは、ご自分で病状を詳しく書いておられますように、肺の手術から半年も経たないうちに体験レッスンに来られました。かなり浅い息で、大変しんどそうに感じられました。

その時のお話で、1番つらいのは「電話」ということでした。とても以前のようにしゃべることができず、友人からも電話で「えらいしんどそうやけど、大丈夫？」と言われたそうです。

体験レッスン後、すぐに週1回の個人レッスンに申し込まれ、数日後に1回目のレッスンを行いました。まず、正しい姿勢と、丹田からしっかり息を出してゆっくり戻す。門前式発声法の基礎の基礎です。そして、ノックを少し。とりあえず、呼吸法だけのレッスンで終わりました。この日は、丹田に意識を置いて息を出し切り、顎を少し緩めただけで、フーと下腹に息が戻って来ることが、とても新鮮な発見であったようで、この先に期待を持って帰られたように見えました。

2回目のレッスンでは、約半分は1回目の姿勢と呼吸法の復習をしました。丹田に意識を置いたまま、息を出し切って「止める」が上手になり、顎を緩めてゆっくり下腹が少し前に出て息が戻って来る、と言う事に手ごたえを感じて、楽しそうにされていました。後半ではいよいよ、エンゼル・ヴォイスを軽く挟んで、丹田からの息をしっかり通す「起声」に入ります。はじめは、低く沈んだ声になって、丹田からの息のスタートがうまくいきませんでしたが、数回するうちに、低い音からピアノで少しずつ誘導して、何とかメソッドでしている低い方の「ド」をクリアする事に成功しました。そして「ド・レ・ミ」あたりは、上手に通す事ができるようになり、レッスンを終了しました。

驚いたのは、3回目のレッスンに来られた時です。顔つきが大変明るく、しゃべり方もとても楽そうで、ごく普通なのです。「先生、2回目のレッスンが終わってから、しゃべるのがすごく楽になったんです！」と言われ、かなり距離のあるご自宅から「歩いて来た！」とおっしゃったのです。「歩く時も、丹田にちょっと手を置いて歩くと、とても楽に歩けるようになりました！」との事です。その時の、上林さんの表情と言葉に、改めてこの発声法の根っ子の素晴らしさに、感動しました。

ご本人も書かれているように、週に1回のレッスンが続いている時は、当たり前のように前回の続きでレッスンできるのですが、何かの都合でそれ以上空くと、少し後戻りしてしまい、「 あれ？」と体が言う事をきかず、初心に返ってのレッスンとなります。常々（２０年以上前から)、門前先生がおっしゃっている「 週１回のレッスンが基本である」というこの間隔が、門前式発声法（＝丹田式発声法）体得の１番の近道である、と言う事を改めて実感している次第です。

現在は、「プーオーア」の５度音程で、高い方の「ド」もクリアでき、ちょっとハードルの高かった「マメミモム」の唇緩めも、うまくしゃべれるようになりました。無理をせず、ゆっくりですが、メソッドのゴールに向かって頑張っておられます。

生徒さんのニコニコされている姿を見ると、とても幸せな気分になります。この「門前式発声法（＝丹田式発声法)」と、私自身が出会えたことに、改めて感謝、感謝です。

本部講師　　小﨑　唯

「ピアノタッチ」は「ピアノタッチ」だけじゃなかった!!

「ピアノタッチでピアノの音がきれいに出せるようになる。きれいなピアノの音の響きで発声を導いてあげてください」と先生がおっしゃったことでタッチの勉強を始めました。

はじめのうちは、なかなか先生のおっしゃる弾き方がつかめないでいました。その後も、一つ一つのポイントを地道に意識して練習を続けていましたが、まだ核心をつかめないでいました。

中野先生から、『肩→腕→肘→手首→指先へと気を通す』と言う言葉を聞いたときに、すごく体も心も解放され、楽に気持ちよくピアノタッチがつかめるようになりました。それを丹田から背骨を意識して呼吸をすることと同じであると教わり、丹田から今の指先へ気を通すことを感じたときに、力みのない、爽やかな、なんとも言えない気持ちの良い感覚に体全体が包まれました。

門前先生から『丹田を使った呼吸で、体の縦の軸が出来、体が自由になる。そして指先のタッチを学ぶことで、脳神経が活性化されることにつながり、全身の神経につながって末端まで活性化される。要はすべての力み取り、良いエネルギー良い気が末端まで通る。全身の若返り方法である。年齢がいっても自分で自分を掃除できる方法である。』とおっしゃった事に実感を持って結びつくことができ、先生の「ピアノタッチ」は単なる「ピアノタッチ」ではなくもっともっと深いものであるとわかりました。

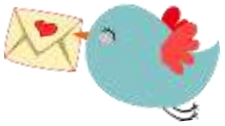
最後になりますが、門前先生は『この丹田式呼吸法を学ぶ事は、声楽家にとっては究極の目的の呼吸法、一般の方にとっては体調不良を調整、正してくれるもの。またこのピアノタッチはピアニストにとっても綺麗な音を出す究極の部分ですけれども、一般の方にとっては指先を動かす若返り方法で、脳機能を活性化させ認知症の予防にもつながる。』とおっしゃっておられます。

私の個人レッスンの８０代になられた全くピアノが初めての方がこのピアノタッチに挑戦して楽しんでおられます。３０分の個人レッスンの後に１５分ずつに分けてピアノタッチをレッスンされている方もおられます。ピアノなしでもできるどなたでも若返り方法として指先を動かすピアノタッチを取り入れられてみてはいかがでしょうか。

本部講師　木村　博子

エンゼル・ヴォイス通信

〈　講師への歩みシリーズⅡ　〉



新企画エンゼル・ヴォイス通信(講師への歩みⅠ)では、門前式発声法がどのようにして学校教育に広まりだしたかについてお話いたしました。そのきっかけは、東大阪市の小学校で音楽専科として活躍されていた二人の同級生の存在でした。音楽家を夢みて高校音楽科で、16 才から 18 才までの 3 年間をともに学んだ 1 クラス 60 名の仲間たち。その中の二人の同級生のお陰で、多くの学校関係者の皆様とご縁を持たせていただきました。

それから 40 年近く経ちましたが、先日たまたま観たテレビの NHK 合唱コンクールでの小学校中学校の子供たちの声が、発声が、がなっていた昔の声とは違って、『天使の声』に変わってきたことを実感し、独りひそかに喜んでいました。アマゾンでも『丹田式発声法入門』の書籍が、20 数年かかって、今までに 450 冊ほど購入されているようで、おかげさまで面識のない方々の元にも伝わり、正しい呼吸法発声法の基本が、浸透して来ているのを実感しています。

さて、シリーズⅡでは、学校教育に伝えながらもう片方で、この深遠なるベルカント唱法の指導者育成への道、丹田式呼吸法・発声法を正しく体得した指導者を養成し、ソフトを伝承していく組織作りの第一歩を踏み出したお話をさせていただきます。

学校教育者へ、独りでコツコツと伝えだしていたある日、母校の相愛音楽大学ピアノ科主任教授、柴田翠先輩から「奈良の沙羅の木会（母校の同窓会）で、声の出にくい子供たちへの指導方法を講習してほしい」と依頼を受けました。

夏の暑い日でしたが、同窓生の前での講習会を開いていただいたところ、「この講習を来年もお願いしたい」との声が上がり、翌年開かれた講習会では、たくさんの沙羅の木会先輩や、ピアノの先生がご参加くださり、準備された会場では入りきれず、急遽ヤマハ西大寺店に、みんなでゾロゾロ移動したのを覚えています。会場の手配をしてくださったヤマハ西大寺店の沼田敬さんも、この時一緒に講習を受けてくださっていたので、一番の立役者として良さを理解してくださり、この丹田式発声法のその後の、ヤマハと私との大きな流れを作っていくことになりました。ヤマハ講習会のスタートはヤマハ西大寺店からでした。

故・柴田翠先生のお声掛けでスタートした、もう一方の入口、専門家に伝える道は、ヤマハの沼田敬さんのお力添えで、同窓会からヤマハへと舞台が移りました。学校教育への啓蒙活動と指導者への啓蒙活動、この私の 2 つの長年抱いていた願いが、少しずつ動き出しまし

た。第１回目のヤマハ西大寺店の講習会は、50 人定員の会場が満席になりましたが、その中には奈良では有名な音楽の専門家も多く集ってくださっていたようです。

講習会終了後、質問などで残ってくださった中に、奥村由起先生がおられました。ちょうど、お嬢様のゆかりさんが京都の高校音楽科に入学されたばかりでしたので、毎週１回、丹田式呼吸法・発声法の基本をコツコツ学んでいただきました。同志社女子大学音楽学部声楽科を優秀な成績で卒業され、その後、イタリアへの留学を希望され相談にみえたときは、勇気ある決断にびっくり‼国民性の異なるイタリアで、安全に勉学に励んでいただけるには…と、イタリア留学への橋渡しをお手伝いさせていただきました。現在は立派に声楽家として活躍されていて、頼もしく、嬉しく思っています。

奥村由起先生は、ヤマハ西大寺店の第１回目からの長～いお付き合いで、公私に渡っていっぱいお世話になってきました。この丹田式発声法の初期からの理解者であり、協力者です。多くの小学校の先生方をご指導いただき、その中から丹田発声協会の指導講師も育ててくださっています。お嬢様を立派な声楽家に育てられた方だけあって、確かな耳と考えを持っておられます。せかず、慌てず、着実に確かな耳を育てコツコツと後輩の指導に力を注いでおられます。

今回は、音楽指導専門家にどのように伝え始めたか、その入り口をお話させていただきました。多くのご縁で繋がった、奈良の音楽家の先生方の応援あり、また奥村先生のように、私の夢とともに歩んでいただいた先生方がおられてこそ、現在があると、心より感謝しております。

このように、イタリアベルカント唱法の基本を継承するための指導者集団の第一歩は奈良の地からスタートしました。そこから、ヤマハ心斎橋店の定期講習へと続いてまいります。このお話はまた次号でさせていただきます。この度は、初期から 30 年近く一緒に活動してくださっている奥村由起先生にご投稿をお願いいたしました。

門　前　　啓　子

講師への歩み

門前式発声法の魅力

門前先生に、この発声法 『 声・ 心 ・ 体 』磨きをさせて頂き、また娘もイタリア留学ができるまでに育てて頂きまして本当にお世話になり深く感謝とお礼を申し上げます。

門前先生に初めてお目にかかったのは、西大寺(奈良)でされていたヤマハでの講習会でした。そこで 「丹田」という言葉と、「低い音から高い音まで声の質を変化させず一本で歌えます。」と言われていた事が印象に残っています。

ベルカント唱法の基本である門前式発声法をコツコツと勉強させて頂くこと、３０年弱になりました。「力みは最大の敵である」 ということを正しく体得する為には、時間がかかりますが、「一生、勉強です。」と言う先生のお言葉に、本当にその通りだと思いレッスンに通わせて頂いております。

生徒さんに教えさせて頂くと、この発声法が増々、奥深いと思うようになりました。一番重要な事は "間" だと思っております。

生徒さんも声の出ない方、ポリープ、血栓、声の擦れ、吃音、軽い鬱病、高い音が出ない方も門前式発声法で改善されておられますが、その後も続けてレッスンに来られ、２５年以上の方もいらっしゃり、皆さん長くレッスンに通ってくださっていて感謝です。

１年目は、１年目の声。２年目は、２年目の声。３年目は、３年目の声。歳を重ねて行く毎に、年々、美しい声が出てくる事、知らず知らずのうちに新たな発見が生まれてくる事がこの発声法の醍醐味です。この魅力を感じて皆さん続けてくださっていると思います。

レッスンの後に、先生から「発声の方向性は間違っていない」と言っていただき、嬉しくなりました。これからも、この発声を正しく伝えていきたいと思いました。

娘の話になりますが、門前先生に高校１年生から１０年間程、発声のレッスンでお世話になり、イタリアへ行きました。イタリアボローニャ国立音楽院で先生に、「 その発声は、どこで習ってきたのですか?」と聞かれ、「日本で習ってきました。」 という答えにビックリされたそうです。イタリアでも長く時間がかかるので、なかなか教えてもらえないそうです。イタリアでも習えない発声法を日本で習えることは、ありがたい事です。

「演奏会で歌わせて頂くとお客さんが、涙して聞いてくださる。」とよく言っていました。やはりこの門前式発声法は本物だと思います。イタリアへ行った時は、まだ体得途中でしたが、声が美しく感動を与えるようです。学校との両立は、大変そうでしたが、行かせてよかったと心から思っています。

門前先生と門前式発声法に出会うことができまして、このご縁に感謝しかありません。

これからも勉強し、正しく伝えて行きたいと思っています。

これからも末永く、ご指導の程よろしくお願い致します。

上級支部講師　奥村　由紀

お　知　ら　せ

検 定 試 験 （2025年度　丹田式発声法(門前式発声法)検定試験

この「検定」は、丹田式発声法(門前式発声法)を学んでいる方ならどなたでも受検していただけます。また、検定試験は、ご自身の習熟度を確かめる良い機会になります。
門前先生から直接ご指導いただく又とない機会です。初心者からベテランの方まで、どうぞ奮って挑戦してください。 試験要項は下記の通りです。

① 試験内容
　＊初めての方は7級から受検していただきます。
　＊次年度からは、合格級の次の級を受検していただきます。

受検級の習得度を、おひとりずつ実技で判定します。

② 場 所　学園前教室

③ 日 時　9月10日(水)、11日(木）、14 日(日）、17 日(水）、18日(木)、予備日 30日(火)
※時間はいずれも 午後 13:00～16:00 の予定です。
※午前をご希望の方はご相談ください。

④ 受 検 料　11,000円(税込)
⑤ 申込み方法　申込書に必要事項をご記入のうえ、受検料を添えて担当教師に提出してください。
⑥ 申込み締切　8月20日（水)まで
⑦ 合格結果　10月末に本人宛に郵送で通知します。

♬ 検定Ⅰ級修得者の方へ

門前先生の集合レッスンを開催いたします。
内容は、ヴォイストレーニングのあと、みんなでイタリア歌曲を歌います。
検定1級取得者の特別レッスンです。是非ご参加ください。

■ 日　時　9月28日(日）11:00～12:00（時間は変更になる場合があります）
■ 受講料　11,000円(税込)　■ 申込み締切　8月20 日（水）

※詳細のご案内・申込用紙は、担当講師にお尋ねのうえ、お受け取りください。

★ インストラクターへのお誘い ★

インストラクター資格について

インストラクターとは

■受検日時：１１月３０日（日）11：00〜12：00
■申し込み締め切り日：１１月２０日（木）

丹田式呼吸法を正しく伝える指導者です

丹田発声協会の認定する「インストラクター」は、門前式発声法の基礎（呼吸法と起声）を正しく伝え、多くの方の声・心・体を育て、人生をより豊かにすることができます。

♪　インストラクターになることで呼吸や発声の世界が広がります　♪

インストラクターの活躍の場は様々です

朗読、詩吟、ヨガ、演劇、ボランティア活動等に取り入れていただくことができます。

今の仕事に門前式呼吸・発声法を活かすことはもちろん、指導することで学びが深まり、自分自身の声・心・体が磨かれていきます。

エンゼル・ヴォイス（特許取得済）

エンゼル・ヴォイスを使ったレッスンができます

インストラクター資格を取得することで、門前式発声法の上達に欠かせないエンゼル・ヴォイスを使用した丹田式呼吸法のレッスンを開講することができます。

☆☆受検の前に、今年度から新スタートする
「丹田式呼吸法をもっと深めたい方のための講習会」１０／２６（日）＆１１／９（日）に
ご参加されますようお勧めします。申込用紙を同封しています。

8月のレッスンについて

8月12〜15日はお盆休みにさせていただきます。
個人レッスンを受けておられる方は、レッスン日を担当講師にお尋ねください。

学園前教室　◯ 印

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	④	⑤	6	7	⑧	⑨
10	⑪	~~12~~	~~13~~	~~14~~	~~15~~	⑯
17	⑱	⑲	20	21	㉒	㉓
24	㉕	㉖	27	28	~~29~~	~~30~~
31						

柴島教室

土
9
23

京都教室

土
2
9
23

♬ エンゼル・ヴォイス合唱　学園前　８月１９日（月）　１０：３０〜１１：３０
　　　　　　　　　　　　茨木大手町　８月２５日（月）　１３：３０〜１４：３０

♬ イタリア歌曲勉強会　学園前　８月１７日（日）　１１：００〜１２：００
　　　　　　　　　　　　　　　　８月２５日（月）　１１：００〜１２：００
　　　　　　　　　　　柴島　８月２５日（月）　１１：００〜１２：００

経理からのお知らせ

●ゆうちょ銀行口座振替手数料値上げについて

この６月から、ゆうちょ銀行口座振替手数料が残高不足で、
お振替できなくても、手数料が徴収されるようになりました。
それにともない、**9月1日のお振替より**当研究所も以下のように
処理を変更させていただくことにしました。
尚、1回目でお振替完了でしたら、変更はございません

注意変更点

残高不足で振替不能の場合でも手数料が発生

毎月 1 日振替 ⇒ 手数料は以前と同様研究所が負担いたします。
10 日　再振替 ⇒ お月謝に別途 220 円加算してお振替します。

※**再振替もできなかった場合**につきましては、
担当講師までお月謝と**別途 330 円**お支払いください。

> 各自で通帳記帳にて残高確認
> お振替完了済等、ご確認お願いします。

ご不明な点等ございましたら、担当講師にご確認ください。

一般社団法人　丹田発声協会
登録番号:T1130005012159

会報作成スタッフ　岡雅美　岸村佳子　後藤悦子　塩見智永子　杉本夏子